



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社

コード番号 4022

URL <https://www.rasa.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 坂尾 耕作

問合せ先責任者（役職名） 代表取締役 常務執行役員（氏名） 望月 哲夫 TEL 03-3258-1835

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	22,698	3.9	2,860	68.5	2,950	82.9	2,046	110.3
2025年3月期中間期	21,849	5.9	1,697	23.3	1,612	19.1	973	△1.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,393百万円（60.9%） 2025年3月期中間期 1,487百万円（5.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	262.06	—
2025年3月期中間期	123.54	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	47,083	29,730	63.1
2025年3月期	45,838	27,877	60.8

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 29,730百万円 2025年3月期 27,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	48.00	—	72.00	120.00
2026年3月期	—	64.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	64.00	128.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,200	8.3	5,100	7.7	4,900	6.5	3,300	5.4	422.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	7,944,203株	2025年3月期	7,944,203株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	131,702株	2025年3月期	136,813株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	7,808,770株	2025年3月期中間期	7,876,773株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、個人消費や企業活動が底堅く推移し、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、物価上昇の継続や米国の通商政策、中国経済の動向、地政学的リスクなどにより、不確実性が続いており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは、長期ビジョン「RasaVision2033」を掲げており、当年度は、このビジョン実現に向けた“種まき”の期間（フェーズ1）と位置づける「中期経営計画2026（2024年度～2026年度）」の2年目として、引き続き「経営資源の最適化と収益力強化を推進し、企業価値向上への基盤強化を図る」ことを基本方針とし、キャッシュアロケーションに基づいた適切な資源配分による資本効率の向上と、コア事業の収益力強化および成長事業の拡大による資本収益性の向上に注力いたしました。これらに加え、環境・社会・ガバナンスにおけるマテリアリティ（重要課題）への対応やDXの推進にも注力し、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、226億98百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益28億60百万円（前年同期比68.5%増）、経常利益29億50百万円（前年同期比82.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は、20億46百万円（前年同期比110.3%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

①化成品事業

磷酸などの燐系製品につきましては、一般品向けは減収となりましたが、引き続き回復基調にある半導体市場を背景に、半導体向け高純度品は国内向けでは減収となったものの海外向けが堅調に推移し、全体では増収となりました。

凝集剤関連製品につきましては、電子部品のエッチング用途向け製品が減収となりましたが、上水道向け製品は堅調に推移し、全体では増収となりました。

コンデンサー向け原料につきましては、減収となりましたが、消臭剤は増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、191億43百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は、27億11百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

②機械事業

建設機械につきましては、破碎機などの本体販売や消耗部品販売およびプラント販売がいずれも減収となり、精密機械加工は増収となりましたが、全体では減収となりました。

土木機械につきましては、下水道関連向け掘進機の本体販売が減収となり、レンタル物件は増収となりましたが、全体では減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、16億99百万円（前年同期比22.5%減）、セグメント利益は、85百万円（前年同期はセグメント損失2億40百万円）となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、化合物半導体市場が堅調に推移し、インジウムは増収、ガリウムはスポット販売もあり大きく増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、11億48百万円（前年同期比61.6%増）、セグメント利益は、3億51百万円（前年同期比805.2%増）となりました。

④その他の事業

石油精製用触媒の再生事業は、若干の減収となりました。不動産の賃貸は、ほぼ前年並みに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、7億6百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は、4億17百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて58百万円増加し、236億39百万円となりました。この主な増減理由としては、棚卸資産が6億94百万円増加した一方、現金及び預金が4億63百万円減少、受取手形及び売掛金が2億25百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて11億86百万円増加したことにより、234億43百万円となりました。この主な増減理由としては、有形固定資産の増加10億11百万円などによるものであります。

当中間連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて6億7百万円減少し、173億53百万円となりました。この主な増減理由としては、短期借入金及び長期借入金の合計が9億51百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が1億39百万円増加、流動負債のその他（主に前受金）が1億35百万円増加したことなどによるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する中間純利益を20億46百万円計上、為替換算調整勘定が2億95百万円増加した一方、配当金の支払により5億62百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて18億53百万円増加し、297億30百万円となりました。

この結果、当中間連結会計期間末における資産合計は470億83百万円となり、自己資本比率は63.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億63百万円減少し、45億91百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は30億19百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純利益29億50百万円、減価償却費8億75百万円、売上債権の減少3億13百万円、棚卸資産の増加6億10百万円、その他負債の増加3億94百万円、法人税等の支払額7億65百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は20億22百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出20億円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は15億18百万円となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出9億64百万円、配当金の支払額5億33百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,054	4,591
受取手形及び売掛金	11,665	11,440
商品及び製品	3,506	3,456
仕掛品	1,232	1,507
原材料及び貯蔵品	1,779	2,248
その他	342	394
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,581	23,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,007	3,918
機械装置及び運搬具（純額）	5,190	5,101
工具、器具及び備品（純額）	965	1,031
土地	6,822	6,822
建設仮勘定	715	1,845
その他（純額）	126	120
有形固定資産合計	17,828	18,840
無形固定資産	45	46
投資その他の資産		
投資有価証券	3,234	3,444
その他	1,152	1,116
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,382	4,557
固定資産合計	22,257	23,443
資産合計	45,838	47,083

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,441	3,581
短期借入金	4,342	4,382
未払法人税等	881	878
賞与引当金	443	473
業績連動報酬引当金	47	—
その他	1,847	1,982
流動負債合計	11,004	11,299
固定負債		
長期借入金	3,996	3,004
退職給付に係る負債	2,549	2,549
その他	410	500
固定負債合計	6,956	6,053
負債合計	17,961	17,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
資本剰余金	7	17
利益剰余金	17,965	19,449
自己株式	△328	△316
株主資本合計	26,088	27,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	125
繰延ヘッジ損益	△8	△5
為替換算調整勘定	1,373	1,669
退職給付に係る調整累計額	345	347
その他の包括利益累計額合計	1,789	2,135
純資産合計	27,877	29,730
負債純資産合計	45,838	47,083

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
売上高	21,849	22,698
売上原価	17,634	17,351
売上総利益	4,214	5,346
販売費及び一般管理費	2,516	2,485
営業利益	1,697	2,860
営業外収益		
受取配当金	18	19
受取地代家賃	14	16
持分法による投資利益	37	187
その他	24	34
営業外収益合計	94	257
営業外費用		
支払利息	63	62
休止鉱山鉱害対策費用	63	63
その他	53	41
営業外費用合計	180	168
経常利益	1,612	2,950
特別損失		
減損損失	6	—
その他	0	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前中間純利益	1,606	2,950
法人税、住民税及び事業税	522	749
法人税等調整額	110	154
法人税等合計	632	903
中間純利益	973	2,046
親会社株主に帰属する中間純利益	973	2,046

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	973	2,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	46
繰延ヘッジ損益	△25	2
為替換算調整勘定	459	339
退職給付に係る調整額	14	1
持分法適用会社に対する持分相当額	136	△44
その他の包括利益合計	514	346
中間包括利益	1,487	2,393
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,487	2,393
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,606	2,950
減価償却費	940	875
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△64	△12
受取利息及び受取配当金	△19	△21
持分法による投資損益 (△は益)	△37	△187
支払利息	63	62
売上債権の増減額 (△は増加)	1,210	313
棚卸資産の増減額 (△は増加)	555	△610
その他の資産の増減額 (△は増加)	17	△45
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,082	110
その他の負債の増減額 (△は減少)	87	394
その他	94	29
小計	3,371	3,858
利息及び配当金の受取額	19	21
利息の支払額	△66	△63
法人税等の支払額	△436	△765
供託金の預入による支出	—	△32
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,888	3,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△986	△2,000
その他	△24	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,011	△2,022
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△126	—
長期借入金の返済による支出	△1,107	△964
配当金の支払額	△391	△533
その他	△26	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,651	△1,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	316	△463
現金及び現金同等物の期首残高	3,405	5,054
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,721	4,591

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	18,238	2,192	710	21,142	707	21,849	—	21,849
外部顧客への売上高	18,238	2,192	710	21,142	707	21,849	—	21,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	5	16	22	△22	—
計	18,244	2,192	710	21,147	724	21,872	△22	21,849
セグメント利益又は 損失(△)	2,093	△240	38	1,891	429	2,321	△623	1,697

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△623百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△623百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	19,143	1,699	1,148	21,991	706	22,698	—	22,698
外部顧客への売上高	19,143	1,699	1,148	21,991	706	22,698	—	22,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	—	10	17	27	△27	—
計	19,153	1,699	1,148	22,001	723	22,725	△27	22,698
セグメント利益	2,711	85	351	3,148	417	3,566	△705	2,860

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△705百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△705百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。